

## コミュニケーションロボットを使った 新しい介護職員向け研修

職員の「対話力」にバラつきがありませんか？  
入居者の気持ちを会話から引き出すコツを学ぶ研修です。

大阪大学基礎工学部石黒浩教授のアンドロイド研究から導き出された遠隔操作型ロボット『テレノイド』を教材に使用。

認知症の方が表情豊かに対話をするところから、メディアでも取り上げられ国内外の介護施設から注目されているロボットです。

本研修では家族介護者の視点、研究者の視点、本人の視点を学ぶことで、プロの支援者としてどのような視点を持つべきかを考えます。

音声オペレーション操作を習得する中で**どんな言葉を選ぶと伝わりやすいのか？**や**話し方**などを実践的に楽しく学べます。

### 主なカリキュラム

I 家族介護者の視点  
【座学+実習】

II 研究者の視点  
【座学+実習】

III 支援者の視点  
【座学+実習】

IV 本人の視点  
【座学+グループワーク+実習】



#### テレノイド

あえて年齢、性別不明に作り、人としての情報量を最小限にすることで想像力を引き出すロボットである。首をかしげてハグをするほか、音声に合わせて口が動く。抱き寄せて対話することを目的に設計されている。

公式サイト

[www.telenoid-planning.jp](http://www.telenoid-planning.jp)

問合せ

[medi@telenoid-planning.jp](mailto:medi@telenoid-planning.jp)

株式会社テレノイド計画医療介護プロジェクト研修担当



- ・出張研修 講師を派遣しての開催となります。
- ・対象職種 全ての職種の方、新人～ベテランまで
- ・1パッケージ4h 15万円～対応（旅費交通費別）
- ・実施期間や回数等についてはご相談の上ご希望に応じてお見積もりいたします。



## コミュニケーションロボットを使った 高齢者おしゃべりサービス

スタッフ不足でご入居者の「会話量」が減ったなあ…（介護施設の声）  
面会に行っても会話が續かないなあ…（ご家族の声）

コミュニケーションが減るとイライラしたり無気力になったり、  
今まで明るかった方の表情までもが曇ってきます。

テレノイドやハグビーを使った遠隔からのコミュニケーション支援  
はそうした現場に笑顔や活気を取り戻します。

普段無口な認知症の方が一生懸命に語りかけたり、笑顔で抱きしめる様子  
を見た職員もまた、笑顔になり施設に活気と意欲が戻ります。

人と人がスムーズにコミュニケーションをとる上で欠かせない  
ツールがコミュニケーションロボットです。

各種メディアでも取り上げられ国内外  
の介護施設から注目されています。

### 主なサービス

プロのオペレーターによる  
朗読や歌、おしゃべり、  
楽しい時間を提供します。

- ・ハグビーおしゃべりサービス
- ・テレノイドおしゃべりサービス

※2017.4月より  
サービス提供エリア拡大予定

公式サイト

[www.telenoid-planning.jp](http://www.telenoid-planning.jp)

問合せ

[medi@telenoid-planning.jp](mailto:medi@telenoid-planning.jp)  
株式会社テレノイド計画



テレノイド  
あえて年齢、性別不明に  
作り、人としての情報量  
を最小限にすることで想  
像力を引き出すロボット  
である。  
首をかしげてハグをする  
ほか、音声に合わせて口  
が動く。抱き寄せて対話  
をすることを目的に設計  
されている。



ハグビーは京都西川の製品です。

これが次世代  
コミュニケーション!



- ・サービスの提供の際は、ハグビー又はテレノイドを別途ご用意いただく必要があります。（購入・レンタル）
- ・その他にハグビーの場合はスマートフォン、テレノイドは所定のネット通信環境が必要です。
- 「Hugvie（ハグビー）」は、アンドロイド研究で有名な、石黒浩氏（ATRフェロー）が考案。
- 「ハグビー」は（株）国際電気通信基礎技術研究所（ATR）の登録商標です。

